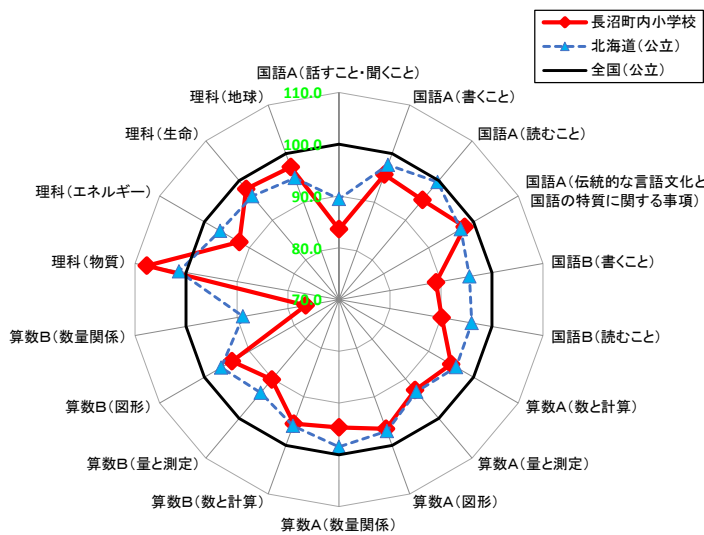


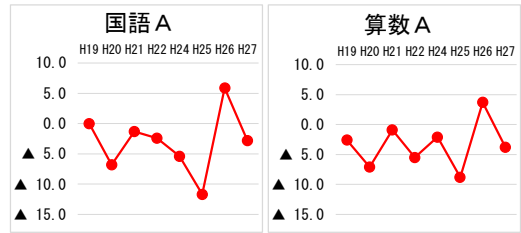
■長沼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:79名)

【教科全体の状況】

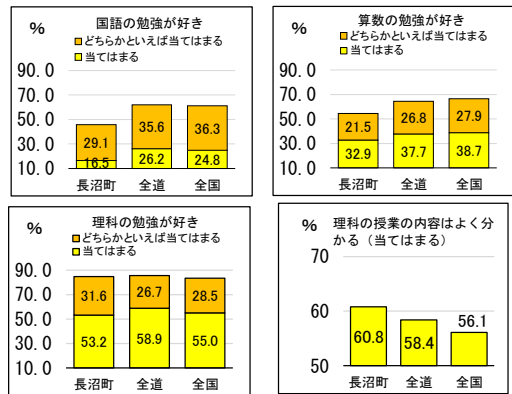
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



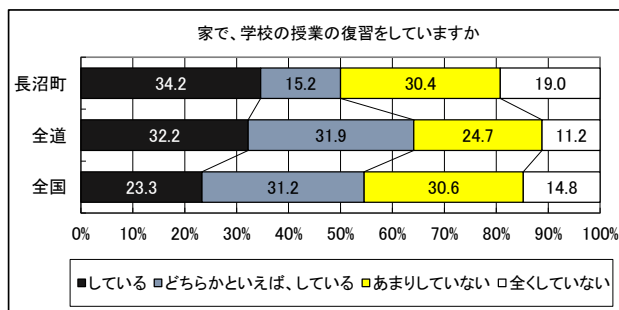
【平均正答率の全国との差の推移】



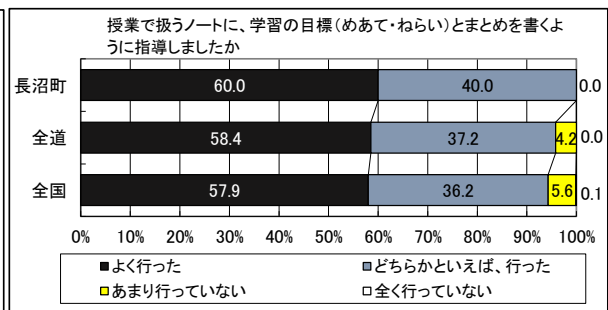
【児童質問紙調査1】



【児童質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 算数Bでは「図形」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 理科では「物質」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した結果、家で、授業の復習をする児童が増え、国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、他の領域に比べて、全国に最も近くなったと考えられる。 ○ また、理科においては、児童が理科の授業の内容がよく分かるようになり、理科の勉強が好きな児童が増え、理科の「物質」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしていますか」という質問に対して、「している」と回答した児童の割合が全国及び全道平均を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 	

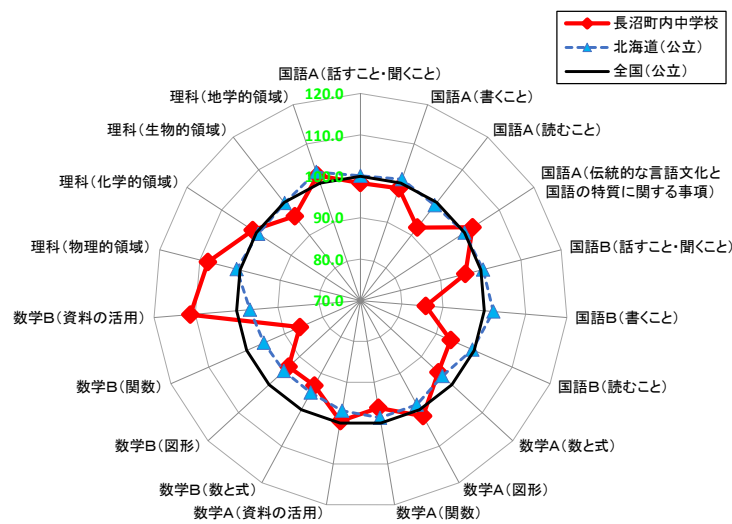
【長沼町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の導入に向けて、検討委員会の開催、組織の発足を予定
- ◎ 学力向上プロジェクト委員会を開催し、全国学力・学習状況調査の分析や課題の交流等を実施し、町全体の学力向上方策について検討
- ◎ 試行的にタブレットを導入し、情報教育を推進

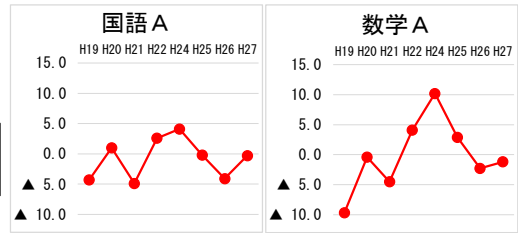
長沼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:73名)

【教科全体の状況】

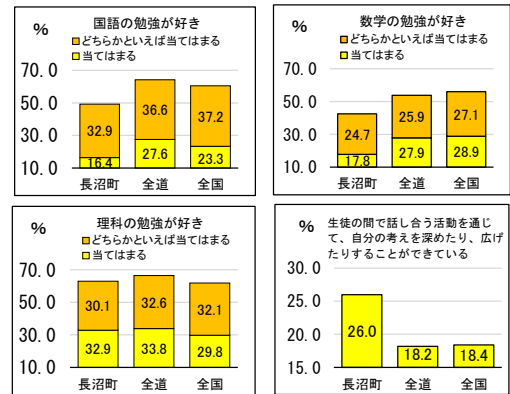
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



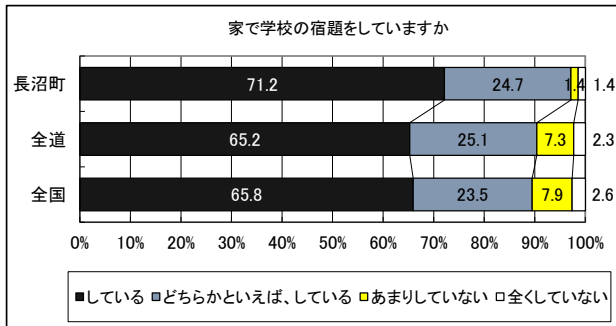
【平均正答率の全国との差の推移】



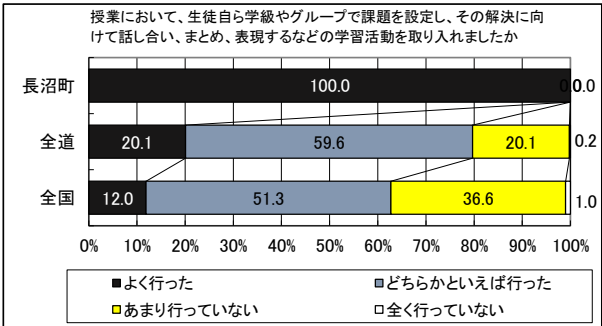
【生徒質問紙調査1】



【生徒質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは「図形」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では「物理」、「化学」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた結果、生徒が家で宿題を行うようになり、国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A「図形」、理科「物理」、「化学」において全国及び全道平均を上回ったと考えられる。 ○ 平均正答率の推移については、学校全体で組織的に生徒が主体的に取り組む学習を取り入れた結果、生徒が自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語A、数学Aで、全国との差が縮まってきたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で学校の宿題をしていますか」という質問に対し、「していると」回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動をよく行っている。 	

【長沼町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の導入(平成32年度を予定)に向けて、今年度中に検討委員会の開催、来年度、組織の発足を予定
- ◎ 学力向上プロジェクト委員会を開催し、全国学力・学習状況調査の分析や課題の交流等を実施し、町全体の学力向上方策について検討
- ◎ 試行的にタブレットを導入し、情報教育を推進